

平成 17 年度

は～もに～プロジェクト 事業報告書

は～もに～ぷろじえくと



Dentistry medical treatment workshop
IN NIIGATA

は～もに～プロジェクト実行委員会
特定非営利活動法人まちづくり学校

目 次

1. 事業推進の基本方針	1
2. 17年度事業の方向性	1
3. 検討経緯	2
4. 17年度実施事業の概要とねらい	2
5. 実施事業報告	4
1) ファシリテーター研修会	4
2) NSG との連携事業	7
3) 北越製紙との連携による歯科保健活動	20
4) 自治会との連携による歯科保健活動	22
5) JC 意見交換会	39
6) 関東信越税理士会総会における講演	42
7) 広報誌の作成	43
8) 全国歯科保健大会におけるパネル展示	43
6. 17年度事業のふりかえり及び次年度以降の課題	44

参考資料

- 北越製紙における「お口の悩みと健康に関するアンケート」集計結果
- 2004年活動PR広報誌

1. 事業推進の基本方針

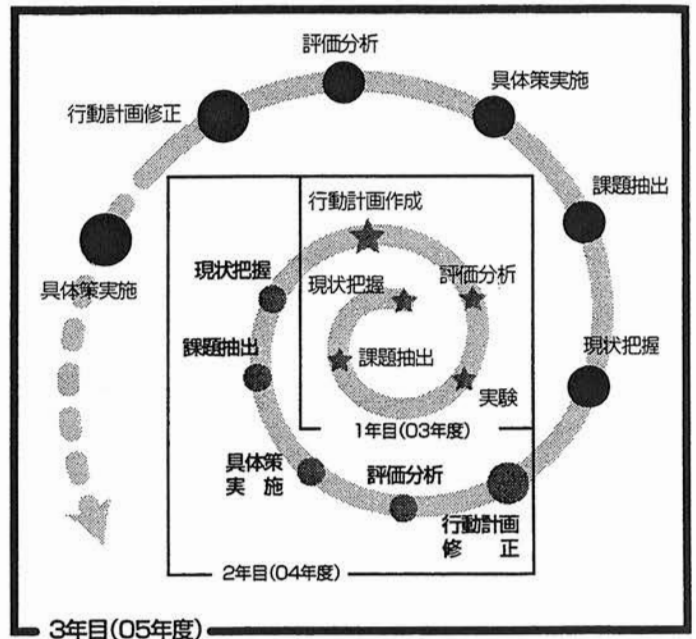
1) 推進体制

- 本事業は、平成15、16年度に8020推進財団からの助成を受けて実施した「住民参加型成人歯科保健推進モデル事業」の続編である。
- 推進にあたっては、過去2カ年と同様に新潟県歯科医師会、新潟市歯科医師会、新潟青年会議所、新潟大学歯学部、NPO 法人まちづくり学校の関係者によって構成された「は～もに～プロジェクト実行委員会」を組織し、事業の企画立案・実施を行った。

2) 推進にあたっての基本的な考え方

- 本事業は、「歩きながら考える」を基本とし、様々な実験プロジェクトを実施(アクションリサーチ)しながら、その都度計画を修正して進めていくことを基本としている。

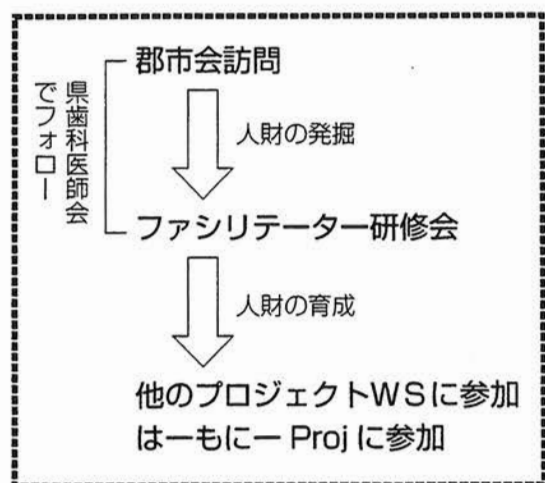
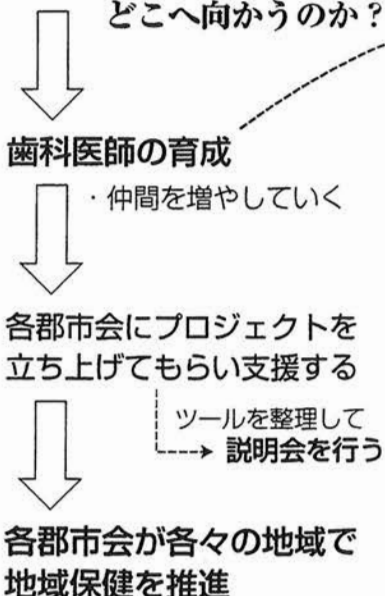
図一歩きながら考える計画づくりのイメージ



2. 17年度事業の方向性

※ 16年度事業を検証して浮かび上がった17年度以降の方向性

は～もに～プロジェクトは
どこへ向かうのか？



17年度事業の柱の一つに据える

3. 検討経緯

○本年度は、実行委員会を計6回開催した。なお、日常的な連絡調整・意見交換等はメールリスト通じて行った。



写真－実行委員会の様子 (05.6.17)

第1回	4月27日(水) 19:30~21:00 ・昨年度のふりかえり ・今年度の進め方
第2回	6月17日(金) 19:30~21:00 ・今年度プロジェクトの実施内容の検討
第3回	7月11日(月) 19:30~21:00 ・NSG 特別講義の内容について
第4回	9月15日(木) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの進行状況の報告
第5回	11月21日(月) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの進行状況の報告 ・各プロジェクトの実施検討
第6回	3月6日(月) 19:30~21:00 ・各プロジェクトの進行状況の報告 ・各プロジェクトの実施検討

4. 17年度実施事業の概要とねらい

1) 歯科医師向け研修事業

●歯科医師向けファシリテーター研修会(継続)

- ・歯科医師を対象にファシリテーターとは何か?を実感してもらうための研修会を開催する。

▶ 歯科医師のコミュニケーション・会議進行スキルのレベルアップを図る

2) 企業との連携事業

●NSGとの連携事業(継続)

- ・NSG グループの専門学校等と連携を模索し、新たな歯科保健教育プログラムを検討する。

▶ 若者層(20歳前後)への歯科保健推進のための方策を探る

●北越製紙との連携による歯科保健活動(継続)

- ・新潟市内の企業の協力を得て、従業員の成人歯科保健に取り組んでいくための活動を実験的に実施する。

▶ 企業における成人歯科保健の方法・あり方を探る

3) 地域との連携事業

●自治会との連携による歯科保健活動(継続)

- ・新潟市内の自治会の協力を得て、地域ぐるみで成人歯科保健に取り組んでいくための活動を実験的に実施する。

▶ 地域を巻き込んだ住民参加型歯科保健の方法を模索する

4) 他組織との連携事業

●JCメンバー健診(実験実施)&意見交換会の実施(継続)

- ・成人歯科健診の受診率向上の一方策として、歯科健診を受診する一つのきっかけを提供する。

▶ 成人歯科健診の受診率向上の一方策として、定着化を図る

●関東信越税理士会総会における講演

- ・関東信越税理士会総会において、歯の健康に関する講演を行う。



・異分野との連携の足がかりになると共に、新たな啓発方法を模索する

5) 広報事業

●広報誌の作成

- ・本事業の取り組みを、もっと広く知ってもらうために、これまでの取り組み等を紹介する広報誌を作成する。



・本事業の認知度の向上

●全国歯科保健大会におけるパネル展示

- ・はーもにープロジェクトのこれまでの取り組みを紹介する掲示用パネルを作成し、PR活動を行う。



・本事業の認知度の向上

5. 実施事業報告

1) ファシリテーター研修会

研修テーマ：様々な人から意見を引き出す基本的な技術の研修

対象者：県央地域の都市歯科医師会の有志

実施日：平成17年12月1日(木)、15日(木)、平成18年1月12日(木)、19日(木)

開催時間：午後7時30分～午後9時

会場：三条商工会議所

■研修の基本プログラム

基本的に、研修は各回とも以下のような流れで進めていった。

- ・ガイダンス (5分)
- ・演習 (60～70分)
- ・ふりかえり (10～20分)
- ・エンディング (5分)

■研修の意図

- ・今回の研修では、ファシリテーターとはどんな役割なのか？ということを知りたいだけでも構いません。
- ・とにかく実践(=演習)をとおして、参加者の方々にファシリテーターという役割を感じ取ってもらおう。理屈よりも経験！

■各回の内容

第1回 (12/1)

テーマ：ワークショップを体験してみる

内容：WSの基本パターンとなるグループワークを体験する

目的：参加者で「月で迷ったゲーム」を行いグループワークの雰囲気を体験してもらう。

第2回 (12/15)

テーマ：相手から話を引き出す

内容：インタビューゲームによる演習

目的：まずはインタビューによって、対面の相手からうまく話を引き出すためのコツを掴む。

第3回 (1/12)

テーマ：ファシリテーター演習 (その1)

内容：実際にファシリテーターをやってみる

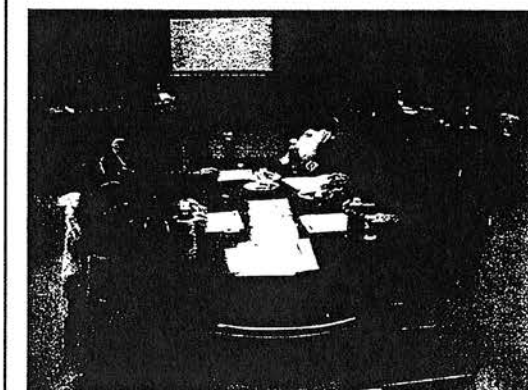
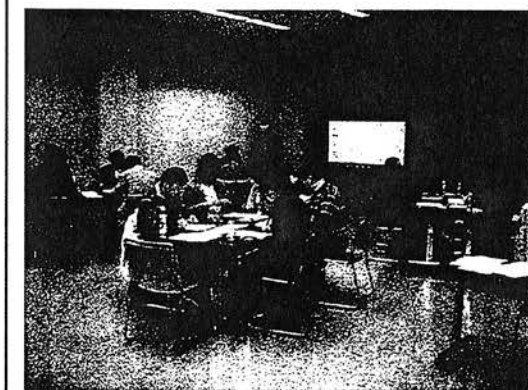
目的：小グループに分かれ、実際に参加者がファシリテーター役やってみる。

第4回 (1/19)

テーマ：ファシリテーター演習 (その2)

※第3回と同様の内容

<研修会当日の様子>



ファシリテータ研修会の評価

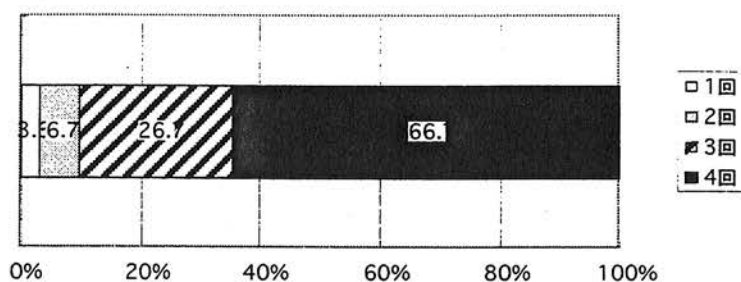
※研修会終了後、受講生へ研修会自体の評価を尋ねるアンケートを実施した。

<回答状況>

三市中東	7人
三条	3人
新発田	6人
新潟	8人
西蒲原	7人
合計	31人 (提出率：68.9%)

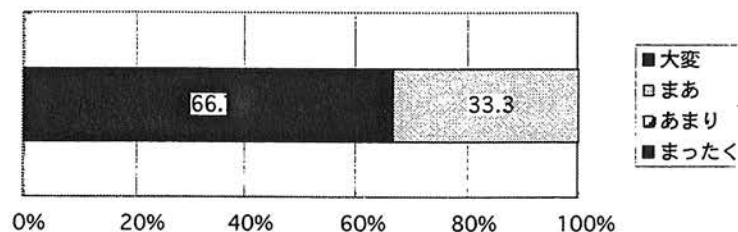
1. ファシリテータ研修会に何回参加しましたか？当てはまるもの1つを選んでください。

- ① 1回 ② 2回 ③ 3回 ④ 4回



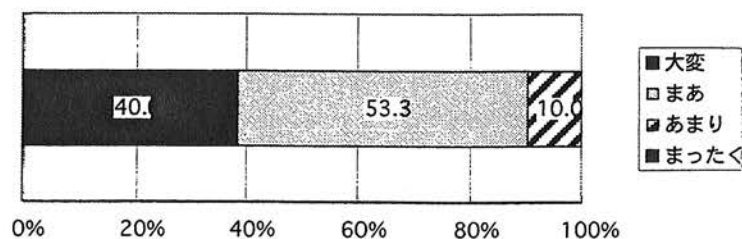
2. ファシリテータ研修会に参加してどうでしたか？当てはまるもの1つを選んでください。

- ① 大変有意義だった ② まあ有意義だった
③ あまり有意義ではなかった ④ まったく有意義ではなかった



3. 今回研修をしたファシリテータの手法は今後の地域歯科保健活動や診療に生かせると思いますか？ 当てはまるもの1つを選んでください。

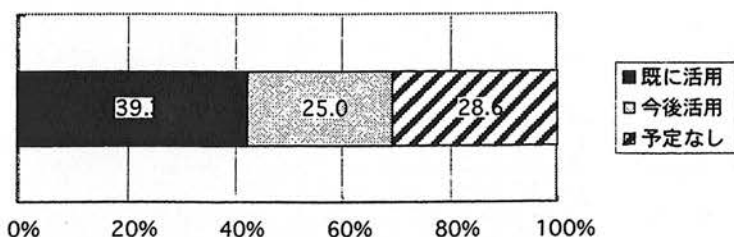
- ① 大変役立つ ② まあ役立つ
③ あまり役立たない ④ まったく役立たない



※①大変役立つ、②まあ役立つとお答えの方は、以下1)、2)の設問について回答ください。

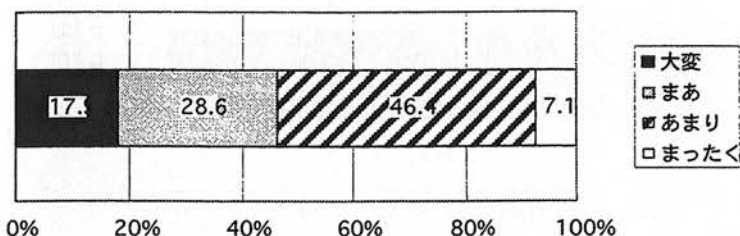
1) 域歯科保活動に活用されていますか？

- ①既に活用している ②今後活用する予定がある ③活用する予定はない



2) 日常の診療において活用されていますか？

- ①大いに活用している ②まあ活用している
③あまり活用していない ④まったく活用していない



4. 今回のファシリテータ研修会は住民参加型歯科保健活動の普及をめざしたものです。研修会の内容や今後の活動について要望等ありましたらご記入ください。

<活用の実態>

- ・ 院内のスタッフミーティングに活用している。
- ・ 歯科医師会での討議に活用している。
- ・ 自治会を巻き込んだ活動に活用している。
- ・ J C 健診で活用している。

<研修内容についての希望>

- ・ もっと時間をかけて研修を行う必要がある。
- ・ 記録係（ファシリテーショングラフィック）のノウハウを知りたい。
- ・ 多数を対象とした場合の手法を教えてほしい。
- ・ アドバンスコースを設定してほしい。
- ・ 住民参加型の具体的事例を提示してほしい。

<その他>

- ・ 参加してもらうための動機付けが必要。
- ・ マニュアルの作成を希望する
- ・ 定期的を開催してほしい。
- ・ 県歯オリエンテーションに活用してほしい。
- ・ 新役員の先生方に受講してほしい。

2) NSGとの連携事業

○NSG 講座案（当初案）⇒半年間のカリキュラムを作成し提案

1. コミュニケーション活性化講座
 - 1) 半年間の流れについて説明
 - 2) コミュニケーションの大切さについて ⇒講義
 - 3) 豊かなコミュニケーションスキルアップ ⇒インタビューゲームの繰り返し
 - 4) ファシリテーターとは? ⇒講義
 - 5) ファシリテータースキル習得 ⇒ファシリテーション・ローテーション
2. 実践講座
 - ・は～もに～プロジェクトの各場で実践体験する。
 - ・歯科保健に関する意見交換 WS
 - ・JC 健診
 - ・歯科保険に関する「まなび屋」（新潟大学のサークル）での実験 等

テキスト：マチダス、マチダスⅡ

使用グッズ：模造紙、ポストイット、水性マーカー、ガムテープ、A3・A4コピー用紙等

※ファシリテーター育成の題材として、歯科保健を取り上げる

※歯科保健啓発のフリーペーパー作成（同世代へ伝えることを目的とする）なども検討する。

※題材の知識提供は歯科医師会が行う。

課題

- ・対象学生の人数に限られる。
- ・継続性

上記に基づき下記のように打ち合わせを行った。

① 04.9.13 (NSG 本部にて)

NSG：池田理事長、永野氏

プロジェクト：池主、佐藤、岡田、小疇

- ・池田理事長からは好意的なお返事をいただき、現場担当者に紹介するということがあった。

② 04.10.14 (STEPにて)

NSG：川崎総務部長

プロジェクト：岡田、小疇

【提案内容】

I. 最初の事業提案

1. は～もに～プロジェクトへの学生の事業参加
 2. 健診事業
 3. NSG 既存事業へのは～もに～プロジェクトとしての協力参加
- ・以上を提案し、意見交換した結果、1、3の提案について、好意的受け止めてもらえた。

II. 現状

- ・NSG は約9000名の学生がいる。しかし今回は医療関係の学生を対象として事業を検討してはどうか。
- ・医療関係の学生

1. 新潟ビジネス専門学校
2. 新潟会計ビジネス専門学校
3. 国際医療カレッジ
4. 長岡情報ビジネス専門学校

以上で約500名

5. 国際メディカル（看護師の学校今年より設立一学年88名）

総計本年度約600名くらい、来年は約770名くらいで

Ⅲ. NSG の考え

- ・ ハード面はあるので、安価に提供可能である
- ・ ソフト面として、学生の提供が可能、学生は横のつながり、家族のつながりがあり、多くの人を巻き込むことが可能
- ・ 医療系の学生を対象として行いたい
- ・ 学生に対し、社会性のある教育内容を行っていきたいという思いもあり、今回の提案には賛同したい
- ・ 学生の参加を検討する場合、カリキュラム編成もあり12月までに内容は詰めたい

NSG 既存事業への参加

(1) 集団講演会の開催（既存のエイズ講演会と同様のもの）

- ・ NSG では、多くの学生を集め集団での講習会を行っている。（講演例、食と口腔、口腔介護など）
- ・ ここで、希望者の健診が可能か？健診道具の予算はどうか
- ・ はじめははもに一プロジェクトの予算で、将来はNSG 予算で行ってもらえるようになれないか？
- ・ 講師派遣は、県歯科医師会
- ・ 事業担当 NSG

(2) 学生イベント事業への参加

- ・ NSG で行っている学生主催のイベントに対し、啓発方法、資料提供等を行う
- ・ 協力は、新潟市歯科医師会
- ・ 事業担当 NSG

3. 04.12.22 (STEP にて)

NSG：川崎常務理事、渡辺事業政策部長、渡部常務理事・秘書
プロジェクト：小疇

- ・ 機構変更により今後は渡辺事業政策部長が対応するとのこと。

4. 05.02.04 (STEP にて)

NSG：教育推進部 就職推進課 見尾田部長
プロジェクト：岡田、小疇

- ・ 依頼先をご紹介いただいた。
→数ヶ所問い合わせたが難色を示された。

5. 05.2.28 (国際福祉医療カレッジにて)

国際福祉医療カレッジ：五十嵐副校長 佐々木教務部長 高内教務部長

- ・ 内部で具体の検討を行った上で返答する旨、回答をいただいた。
→後日回答をいただき、05.7月20日と21日の2日間で行うことを決定した。

下記が提案した計画である。

NSG さんでの実践的コミュニケーションスキル授業計画 (案)

まちづくり学校 小時

対 象：医療福祉総合秘書学科2年 53名
(医療事務等の勉強をしている学科)

担当：国際福祉医療カレッジ

こども福祉・医療秘書キャンパス 教務部 高内 由佳様
025-229-6600

日 時：05.7.20 (水) 9:40~12:30

05.7.21 (木) 9:40~12:30 計 約6時間

会 場：NSG スクエア (旧カミーノ) 025-227-6326

目 的：良好なコミュニケーションの重要性についての理解を深め、その手法を実践的に学ぶ (歯科医療事務の実践に即して)

進め方：第1日

1. 授業の目的について
は~も~に~プロジェクトとは
2. ゆるやかな関係づくりゲーム
緊張感をほぐす
3. インタビューゲーム
テーマを掘り下げることの重要性 (2日目につなげる)
4. 発表
5. 伝達ゲーム
話す→絵に描く→パントマイム→手のひらに書く→口の開閉で伝える
的確に伝える工夫
6. ふりかえりシート記入

第2日

1. みんなでポエム
グループの協働行為を理解し、そこでの自分の位置を確認する
2. 実践的受け付け体験ゲーム
患者と受け付けに分かれて対応する→医師に伝達→プロの評価
(実際の養成プログラムをチェックする)
3. 意見交換
自分自身の健康管理の重要性
全身の健康から→「歯」って自分にとってな~に?
健康、保健に対する意識→自分にとって、他人にとって
歯に関する10~20の質問
4. ふりかえりシート記入
5. 終了

必要人員：歯科医師会 1日目 2名
2日目 4~5名プラス受付の女性
まちづくり学校 3~5名(両日)

当日の進行表は次ページ以降に掲げる。

NSGコミュニケーションスキルアップ授業 進行表(1)	
第一日 進行表	
日 時	平成17年7月20日(水) 9:40~12:30
場 所	古町7 NSGスクエア 7F
主 催	はくもにプロジェクト実行委員会
参加学生	53名
スタッフ	【歯科医師会】 岡田 葭原 【まちづくり学校】 小崎、斉藤、渡邊和顕、長谷川、安田、小西
NSG担当	国際福祉医療カレッジ こども福祉・医療秘書キャンパス 教務部長 高内 由佳様
目 的	良好なコミュニケーションの重要性についての理解を深め、その手法を実践的に学ぶ
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの重要性について インタビューゲームで体験 2. 協働作業を通じて全体と自分の関係を考える 3. 実践的体験 受け付け体験ゲーム 4. 意見交換
タイムスケジュール	全体進行 斉藤
09:00	会場設営 打合せ 全員
09:40	授業の目的について 歯科医師会
09:45	2日間の進め方について 小崎
09:50	ゆるやかな関係づくりゲーム 小西
10:10	インタビューゲーム(15分、15分、10分) 長谷川
10:50	休憩
11:00	発表 渡邊
11:40	伝達ゲーム 安田
12:20	振り返りシート記入・次回案内 斉藤
12:30	閉会

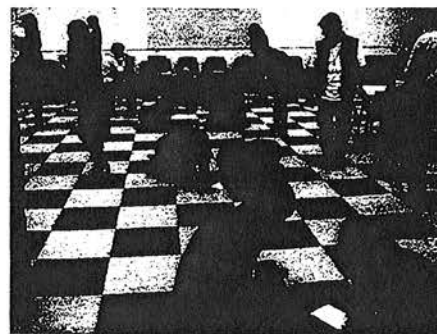
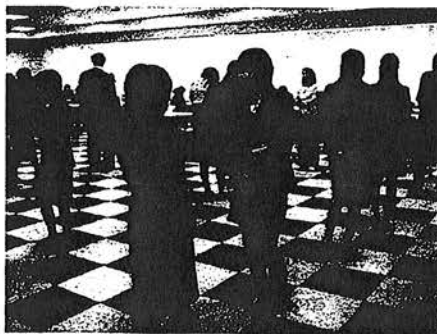


写真 当日の様子(伝言ゲーム)

NSGコミュニケーションスキルアップ授業 進行表 (2)		
第二日 進行表		
日 時：平成17年7月21日 (木) 9:40~12:30		
場 所：古町7 NSGスクエア 7F		
主 催：は～もに～プロジェクト実行委員会		
参加学生 53名		
スタッフ：【歯科医師会】 岡田 佐藤 桑原 各々の受付 (3名)		
【まちづくり学校】 小崎、斉藤、渡邊和頭、長谷川、安田、小西		
目 的： 良好なコミュニケーションの重要性についての理解を深め、その手法を実践的に学ぶ		
内 容： 1. コミュニケーションの重要性について インタビューゲームで体験 2. 協働作業を通じて全体と自分の関係を考える 3. 実践的体験 受け付け体験ゲーム 4. 意見交換		
タイムスケジュール		全体進行 斉藤
09:00	会場設営 打合せ	全員
09:40	2日目の進め方について	小崎
09:45	ゆるやかな関係づくりゲーム	渡邊
10:00	グループ1 インタビューゲーム&伝言ゲーム	安田
	グループ2 実践的受付体験ゲーム 1) ガイダンスとペアづくり 2) 患者役A シナリオ①の読み込み 3) ロールプレイ (シナリオ①) 4) 相互評価とフィードバック 5) 患者役B シナリオ②の読み込み 6) ロールプレイ (シナリオ②) 7) 相互評価とフィードバック 8) 代表者ロールプレイ (2組程度) と医師によるフィードバック	インタビューゲーム：小西 伝言ゲーム：安田 受付体験ゲーム 渡邊 歯科医師会
10:50	休憩	
11:00	グループ1 実践的受付体験ゲーム	グループ2 インタビューゲーム&伝言ゲーム
12:00	意見交換 歯に関する○×クイズ形式での意識調査	長谷川 斉藤 歯科医師会
12:20	振り返りシート記入	斉藤
12:30	閉会	歯科医師会

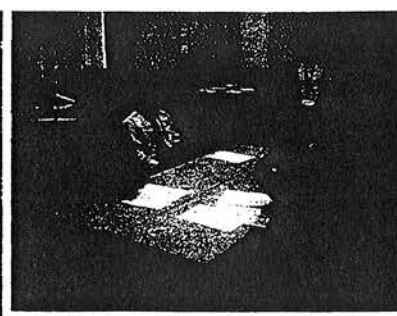


写真 当日の様子 (受付体験)